

「Vivid」はあざやかな、生き生きとした、活発な、はつらつとする言葉です。「女性も男性もいきいきと生きることができる」という意味の英語です。「You & I」は本市の男女共同参画行動という、男女共同参画社会の理念を明確に表わす言葉として、計画にも用いたとおり、女性と男性のパートナーシップを意味 愛称に決めました。

## 本は好きですか？ 本はきれいですか？

読んだ本を本棚に並べていくのが楽しみです。忘れた頃にまた読みたくなるんです。



読書感想文を書かされるのが嫌い。本はあまり読まないよ。漫画は大好きだけど。



本はあまり読みませんが、子どもが生まれてから、絵本をよむようになりました。今は子どもと一緒に楽しんでいます。



★ 生駒市の図書館っていい！！～家族で図書館へ・本は好きですか？～	2～3
★ 生駒のきらりさん ～おはなしの世界と出会って・おはなしの魅力・子どもの反応	4～5
★ 「(仮称)生駒市男女共同参画基本条例」の検討を始めました	6
★ 「日本女性会議2006しものせき」参加報告	7
★ 生駒市女性センターからのインフォメーション・まちがい探しクイズ	8

# ～20周年～ 生駒の図書館って…いい!!

## 家族みんなで図書館へ

生駒市に図書館ができて、今年でちょうど20周年です。市外の方からの「生駒市の図書館はいい!」という声をよく聞きますが、その理由はどこにあるのでしょうか? 設立当時から現在までの様子を図書館職員から話を聞いて、生駒市の図書館事情を探ってみました。

市内の小学校や幼稚園では、子どもたちが図書館に出向いて行くこともあります。その他にも、読書タイムや有志の保護者による絵本の読み聞かせなど、本に親しむさまざまな取り組みが実施されています。

### 20年前…生駒市に図書館を!

1965年頃から「ポストの数ほど図書館を」という動きが全国に広がり、地域の文庫活動が盛んになっていました。生駒市も移動図書館ではなく分館配置の道を選び、市内に5つもの図書館施設が配置されることになったそうです。職員のほとんどが司書資格を持ち、住民ニーズに沿った選書を行ってきたことも特徴の一つです。

( 図書館、図書館北分館、図書館南分館、中央公民館図書室、鹿ノ台地区公民館図書室 )

「子ども連れの母親が買い物帰りに立ち寄れる場所に」

児童と成人の書架をあえてワンフロアにしたのにはこういう理由があったのです。

### そして、いま…

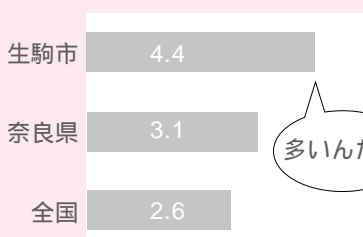
お父さんの姿も…

10年前くらいから、休日に小さなお子さんを連れて来られるお父さんが見られるようになってきました。南分館のおはなし室でも、若いお父さんがお子さんに紙芝居を読んであげる姿は珍しくない光景となっているようです。また、東生駒の図書館では昨年7月から平日の開館時間が夜8時まで延長され、保育園帰りらしい子ども連れのお父さん・お母さんの姿も見られるそうです。

図書館が「調べものをする」本を借りる」ためだけの場所ではなく、親子がふれあいを楽しむ場所になってきているのかもしれないね。

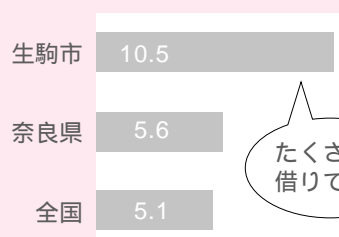
## 生駒市図書館利用状況

『図書館年鑑2006』生駒市図書館年報 平成17年版』より



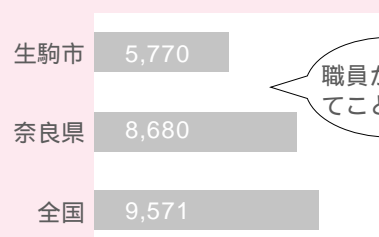
人口1人当りの蔵書冊数(冊)

多いんだね



人口1人当りの貸出冊数(冊)

たくさん借りてるね



職員1人当りの奉仕人口(人)

職員が多いってことだよ



南分館でのおはなし会



## パパもよんで!

『おやすみ アルフォンス!』  
グニツラ・ベリイストロム / 文・絵  
山内清子 / 訳 偕成社

寝つきの悪いアルフォンスに、母親役もこなすパパは一生懸命応じますが、もううたくた。就寝前の父子の姿をほほえましく描いています。

# 本は好きですか？

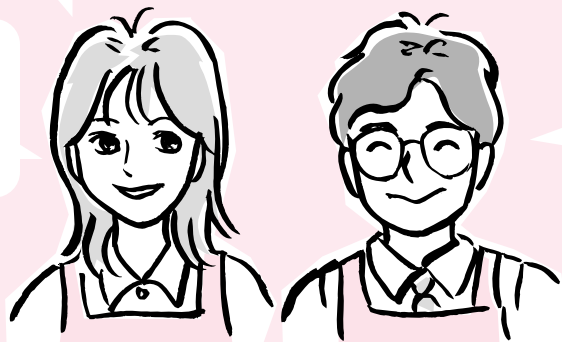
子ども時代に会った本の挿絵をカラーだと記憶していたのに、大人になって読み返してみたら白黒だったという経験がありませんか？  
子どもの想像力が素晴らしいですね。

子どもが好き。教職にあこがれた時期もありました。

「孫が遊びに来たときのために」と絵本選びをするおじいちゃまのお手伝いをすることもあります。

フロアにいるときは、声をかけてくださるのを待っているんですよ。本選びに困ったら気軽に話しかけてくださいね。

活字にふれる仕事がしたかったです。



図書館 清水さん 南分館 井上さん

子どもの頃は移動図書館で伝記をよく借りていました。

読書には数え切れないほどの効能があると言われています。知識を増やしたり、表現力が養われたり、想像力も豊かにふくらんでいく。それらは幼い頃からよい絵本に触れることによって徐々に育まれていくのでしょうか。絵本は、心が白紙の状態の子どもが身近に手にすることができるメディアです。差別やいじめ、偏った男らしさ・女らしさを肯定する内容の絵本であっては正しい人権感覚は育ちません。何度も手にする本だからこそ、よく考えて選びたいですね。

## 図書紹介

誰もが自分らしく、いきいきと生きるには そんな問いにヒントをくれる本を紹介します。  
ここに紹介した本は生駒市の図書館で借りることができます。



### 『ワークライフバランス社会へ 個人が主役の働き方』

大沢真知子 / 著 岩波書店

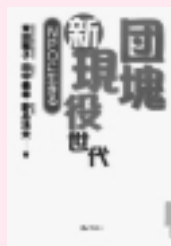
仕事中心の社会から仕事と生活のバランスのとれた社会へ。そのための「柔軟な働き方」とは？アメリカやイギリスなどの事例を参考に、理想の働き方を考えてみませんか。



### 『共働き子育て入門』

普光院亜紀 / 著 集英社（新書）

共働き家庭が直面する問題や不安に対する解決策と家庭内での分担の見直しを提案。共働き子育て家庭のネットワークを主宰する著者から若いお父さんお母さんへの貴重なアドバイス。



### 『団塊新現役世代 - NPOに生きる』

米田雅子ほか / 著 ぎょうせい

700万人といわれる団塊の世代。定年後の彼らにはそれまでのキャリアを生かした活躍が期待されています。第2の人生の選択肢の1つとして、NPO法人の多彩な活動を紹介します。



### 『「パパ権」宣言！

お父さんだって子育てしたい』

川端裕人ほか / 著 大月書店

全般的にお父さんが子育てに関わる時間はまだまだ短いようですが、子育てを楽しむ、積極的に地域と関わるライフスタイルを提案しています。

6月23日～29日は男女共同参画週間です。図書館ではこの時期に男女共同参画にちなんだ本を特集しています。

読書が嫌い=悪いことではなく、音楽鑑賞が好きとかスポーツは嫌いといった好みの問題です。ただ、本には他のものでは代用できない魅力があります。ひとりっきりの時間を楽しむことができ、ひとつの言葉に救われることもあります。基本は「楽しむ」「好きになる」こと。

全国学校図書館評議会の見解によると、『ハリー・ポッター』などの新しいタイプのファンタジー、『世界の中心で愛をさけぶ』という同世代を主人公とした小説のヒット、若い芥川賞作家の出現などにより中高生の読書量は増加しているそうです。ドラマや映画の原作など、まずは身近なものから手にとってみませんか？ 大切な友人に出会えるかもしれませんよ。



Saru mom.



# 生駒のきらりさん ～おはなしの世界と出会って～

29年間、奈良県内の図書館や小学校などさまざまな「おはなし会」にて、子どもたちにたくさんの「おはなし」を語ってこられた生駒市在住の長嶺知永子さん。自然が好きで、山へ行ったり、絵を描いたりもする素敵な方です。おはなし会の様子や魅力についてお聞きしました。

## おはなし会を始めたきっかけは？

当時は奈良市の団地に住んでいて、自治会活動をしていました。その時にいろんな方と接してみて、大人同士の交流が希薄になってきているなど感じました。「このままでは子どもたちの環境にも良くない！家にこもっている子どもたちを集めて何かできないか・・・」と考え、本好きの友人と始めたのが「おはなし会」でした。



京都・精華町の絵本や「いちいの木」にてストーリーテラーの養成講座で語りの魅力について語る

## 昔話を読んでみませんか？

『子どもに語る 日本の昔話』全3巻  
稲田和子・筒井悦子 / 著  
こくま社



家庭を中心に伝えられて来た数多くの昔話から、形の整った古い形ものを丁寧に子どもたちに分かりやすい言葉でまとめられています。



『子どもに語る グリムの昔話』全6巻  
グリム / 著 佐々梨代子・野村滋 / 訳  
こくま社

いろいろな翻訳本があり、それぞれ少しずつ表現が違う昔話。原書に忠実に訳され、声に出して読みたくなる読みやすいシリーズです。読み仮名もふってあり小学生にも読めます。

## ～いつだってはじめられる～

2番目の子どもと年子で3人目の子どもを産んだあと、「正直、私の人生これで終わりだ・・・このままでは忙しさから家を一步も踏み出せない！」と焦りました。そうしてまずは、上の子が幼稚園に行っている間に下の子2人を寝かしつけて自動車教習所へ通い、免許を取得。つぎに、車で子どもを実家に預けて保育士の資格をとりました。

30歳のとき腰を痛み、体力作りのために始めた水泳にそのままはまってしまい、指導員の資格を取りました。現在もスイミングの指導を続けています。

おはなし会を始めたとき、私の下の子どもは10ヶ月。私も子どもも、たくさんのおはなしや素敵な近所の仲間と囲まれて育っていったと思います。

『美しく不幸でか弱いお姫さまを助けてくれたのは・・・白馬に乗った強くて優しい王子さま。そうしてふたりは結婚し、いつまでも幸せに暮らしました。めでたしめでたし』

幼い女の子だったわたしには、愛し愛される結婚が夢のゴールに映って見えました。でも、現実はそのなかに甘くなかった。憧れの結婚は、実際にはもうひとつの人生のスタートにすぎませんでした。「家を守る」というプレッシャーとの闘いがはじまったのです。

家事や育児をこなしながら積極的に地域と関わってこられた長嶺さんの生き方は魅力的です。日々の生活に追われっぱなしのわたしは、そのパワーにとても勇気づけられました。

家事・育児・介護など家の仕事はとて大切で生活に欠かすことのできないものですが、それだけに縛られることなく、だれもが自分の望む生き方ができる世の中になってほしい。



Sashimi mom.

## 「おはなし」の魅力

～輝く子どもの目～  
初めて語った「おはなし」は「赤ずきん」でした。目を丸くして、夢中で聞いてくれた子どもの顔が、今でも心に焼き付いています。

## おはなし会をして感じたこと

・・・むかしといま・・・  
20～30年前の子どもたちに比べて、いまの子どもたちはおはなし自体を聞けなくなってきています。映像で目や脳が慣らされているからでしょうか。じっくり聞いてことばで想像するということが苦手な子どもが多くなってきています。

## 反応のちがい

男の子も女の子も冒険のおはなしが大好きです。でも少し大きくなると、女の子が主人公のはなしをすると、男の子は一見つまらなそうな顔をします。

小学4、5年生になると、おはなしの中に歌がでてくると、何人かの子が気恥ずかしそうにします。それが今では、3年生でもときどき見られます。

## mom momメンバーおすすめ ～よんでみて!!～



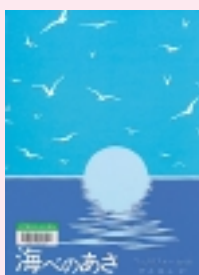
### 『ヨセフのだいじなコート』

シムズ・タバック / 文・絵  
フレーベル館

コートがジャケット、ベスト、マフラーと形を変えながら大切に愛用されていきます。最後はボタンになり、そのボタンをなくしてしまうのですが・・・思い出を本に書くという素敵なおはなし。楽しいしかけ絵本になっています。

～よいおはなしって？～

次はどうなるの？とドキドキしながら想像しておはなしを聞き、最後に「ああよかった・・・」と安心できる「行きて帰りし物語」。主人公とともに、お話の中でいろいろな体験をしてほしいです。



### 『海へのあさ』

ロバート・マックロスキー / 文・絵  
石井桃子 / 訳 岩波書店

朝サリーが目をさますと、歯が1本ぬけかかっていて気がかりでたまりません。すばらしい大自然と一体となった小さい島での日常が単色刷りで描かれていて、想像力をかきたてられます。



### 『読む力は生きる力』

脇明子 / 著 岩波書店

「文字が読めるのに本が読めない」のはなぜか。どうすれば「ほんとうにいい本」を手渡していくことができるのかを考える手がかりを与えてくれます。読む力が生きる力？大げさな話だな。と思いましたが、「子どもが本をよむことの大切さ」に目が覚めました。

本選びにぜひ！！絵本ナビ <http://www.ehonnabi.net> (お父さんグループが作った絵本選びのサイトです。)

むかし子どもたちは、祖父母や両親から昔話などの語りを聞いて育ちました。そのおはなしの中には、人として生きるルールや思いやり、生きる知恵が織り込まれ、自然に「聞いて、感じて、考えて」ということが身に付いていました。

いまの子どもたちは、さまざまなメディアの情報に囲まれています。むかしより生活も忙しすぎるのではないのでしょうか？環境の変化に応じて人も変化していくものです。でも、おはなしや絵本などを媒体とした、人と人との間でしかできないあたたかい思いのやりとりは、失いたくないものです。



Kero mom.

# 「(仮称)生駒市男女共同参画基本条例」の検討を始めました

平成17年に策定した「男女共同参画行動計画 女と男 You & I プラン(第2次)」に基づき、男女共同参画に対し市民の一層の理解を深め、男女共同参画社会の実現を目指して、条例の検討を始めました。

条例案の策定にあたり、広く市民の皆さんと一緒に考え、その意見を反映させるため、市民スタッフを募り、「(仮称)生駒市男女共同参画基本条例を考える市民スタッフ会議(以下「条例スタッフ会議」)を設置しました。条例スタッフ会議でまとめられた意見は、今後生駒市男女共同参画施策推進懇話会や生駒市男女共同参画施策推進会議などで審議されるとともに、広く市民の方からご意見をいただき、条例の制定に向けて皆さんの意見の輪を広げていきたいと考えています。

## 条例スタッフ会議 こんなことをしています

平成18年8月 広報いこまやホームページなどで市民スタッフを募集  
9月 第1回条例スタッフ会議(辞令交付、市長講話など)

以降 月1~2回会議を開催

10月~12月 男女共同参画条例制定に向けて必要な講義を受講しました。  
課題のテーマ分け及び班分けをしました。

平成19年1月 班ごとの話し合いを始めました。  
2月 クレオ大阪(大阪市立男女共同参画センター)を視察しました。



条例スタッフ会議の内容は生駒市ホームページで見ていただくことができます。市民の皆さんからのご意見をお待ちしています。

(<http://www.city.ikoma.lg.jp/kashitsu/16210/01/09.html>)



# 「日本女性会議2006しものせき」参加報告

男女共同参画社会に関する理解を深めるとともに、地域社会におけるリーダーづくりを目的として、平成8年度から日本女性会議への派遣事業を行っています。今年度は、条例スタッフの希望者4名を派遣しました。

## 開催日

平成18年10月6日(金)・7日(土)

## 開催場所

山口県下関市(下関市民会館など)

## 報告

進み行く私たちの現在(いま)。

報告者:板東久美子さん(内閣府男女共同参画局長)

## 講演

男女共同参画の潮流。

講師:白石真澄さん(東洋大学経済学部教授)

## 基調プログラム

わからないから信じあう。知らないから支えあう。

講師:山本美香さん(ジャーナリスト)

## 記念講演

私が信じた道。私の歩む道。

講師:市原悦子さん(俳優)

## 分科会

- 1.政策・方針決定過程への女性の参画
- 2.労働
- 3.農山漁村における男女共同参画
- 4.女性への暴力
- 5.健康
- 6.メディアと女性
- 7.教育・学習
- 8.地域づくり
- 9.次世代育成支援
- 10.女性・男性
- 11.国際交流
- 12.歴史にみる下関の女性



## 清田 博子さん

わたしは今回で2回目の参加です。大会や分科会の各基調講演はすばらしく、男女共同参画社会実現の流れが着々と進んできている報告でした。

23回続いてきた積み重ねを感じ励まされ、勇気づけられました。

残念なことは、これから時代を担っていく若い人達が少なかったことです。これからは、もっと幅広く老若男女が参加していける大会になって欲しいと思いました。

生駒市で男女共同参画条例作りの市民スタッフとして活動する知恵とパワーをもらいました。

## 寒川 麻利子さん

東アジア女性会議('94)以来久々の参加となりました。この2日間を通し、立場の違う様々な人達と女性の生き方や社会、平和について等話し合い、お互いの考えを知り、時間を共有することができ有意義でした。分科会では土井たか子さんが「平和なくして人権なし」と述べられました。私は「平和」という言葉に心のやすらぎと豊かな可能性を想像します。全ての人々とこの平和と人権を享受するために、共に手をとり粘り強く決してあきらめずに、けれど欲ばらず、一步一步努力していきたいと強く思いました。

## 藤堂 宏子さん

私が出席した第9分科会「次世代育成支援」では、母親が安心して社会参加でき、父親は楽しんで子育てに関わる社会、さらに各世代がそれぞれのライフスタイルに応じて、子育てを支援する仕組みについて話し合い、活躍している女性たちから今後の活動へのパワーを分けてもらってきました。

しかし、中高年の参加者が大多数だったこと、今年で23回の会議を重ねてきた成果の検証の必要性、ほぼ女性だけで男女共同参画を議論することの限界など今後の課題も感じました。

## 宮崎 武さん

この会議は、社会生活のあらゆる局面で男女が平等な立場で共同参画し、共に幸せな生活を送るために今何が問題か?それを解決するために人の意識や社会のシステムをどう変えていくのか?を問いかける意義深いものでした。

そういった意識のないまま男性優位の社会を駆け抜けてきた私には強いインパクトがありました。ただ、私の目には男性参加者、若い女性の参加者が少なかったように映りましたが、そこにこの取り組みの今後の課題があるように思いました。

# 生駒市女性センターからのインフォメーション

## 情報コーナー

閲覧 図書その他施設の情報誌や刊行物、女性問題に関する資料等を自由に閲覧できます。  
貸出し 一人3冊まで2週間借りることができます。



### 《情報誌紹介》

切り抜き情報誌「女性情報」  
パド・ウィメンズ・オフィス/発行

全国主要17紙に掲載された女性に関する記事を毎月7千点近く収集、厳選した約500点の情報をホットな特集、継続的に動きを追うアイテムやテーマに分けて収録しています。  
“女性の今”をまとめたコンパクトで役に立つ情報誌です。



月刊「We learn」  
財団法人 日本女性学習財団/発行

女性と学習・次世代育成の専門情報誌。研究レポート、実践活動事例、シネマ女性学、資料情報など、学習し活動する女性をエンパワーメントするための情報を発信しています。

この情報誌の編集には、平成17年度「情報発信スキル養成講座」の受講者が中心に集まった会「mom.mom」に参加していただいています。

## まちがいさがしクイズ (2枚の絵で違う箇所が7つあります。)



※1:ちよみの数 2:犬とさき 3:てんとう虫 4:スカートの柄 5:帽子と頭 6:めがねの目録 7:花びらと葉

## 女性のための相談

プライバシーは堅く守りますので、安心してご相談ください(費用無料)。  
申し込み・問い合わせ = 女性センター  
(73-0556)

### 電話相談

月～金曜日 午前9時～午後4時

### 面接相談

電話で予約の上、センターへお越しください。

### 法律相談

DV、セクシャルハラスメント、ストーカー、離婚などについての女性弁護士による面接相談。

毎月第3水曜日の午後1時～4時

(祝日の場合は翌日)

要予約:相談日の一週間前より受付)

### フェミニストカウンセラーによる面接相談

心の悩みを持った女性が、自分らしく生きるための支援をするカウンセリング。

毎月第2・第4水曜日の午後1時～4時

(祝日の場合は翌日。要予約)

住所・氏名・年齢 一番興味を持った記事とその感想を記入して、ハガキかメールにて平成19年4月末日必着で女性青少年課までお送りください。抽選で5名様に粗品を差し上げます。

### 編集後記



Nora mom.

子どもの頃は大好きだった読書。いつしか映画やマンガで満足するようになり、読書の時間などないように思う今ですが、読むことでしか得られない感覚を見直し、小学生になった我が子とともに味わっていききたいな。



Kero mom.

本を読んだり、おはなしを聴いたりして感じる「心」を大切にしてほしい。本を通して人と人がつながる体験や、壁にぶち当たったときに乗り越えるヒントを見つけてほしいと思います。  
素敵なお本との出会いはいつでも訪れる!



Sashimi mom.

小学校の図書室は、少し暗くて壁にぎっしりつまった本の匂いに囲まれた異空間。先生が朗読すると、言葉が絵になって動くようでわくわくどきどきさせられたなあ。いまは情報収集のための読書が多いけれど、また、本の世界に遊んでみたい。



Saru mom.

子どもの頃から図書館や本屋さんはとても居心地のよい場所でした。編集を通じて、図書館司書さんと取材でお話したり、図書館や読書についての知識を得て、本の奥深さを感じました。大変だけれど多くの経験をしています。

生駒市男女共同参画情報誌・第20号  
発行 = 生駒市・生駒市教育委員会  
編集 = 生駒市教育委員会事務局女性青少年課  
(〒630-0288 生駒市東新町8-38 ☎0743-74-1111内線673)  
e-mail (jyosei@city.ikoma.lg.jp)  
発行日 = 平成19年(2007年)3月

(この情報誌は再生紙を使用しています)